

わ け あ っ て 延 岡

MIYAZAKI [2021 年版]



神様の プロポーズ



大黒天



「延岡」 出逢いの聖地

その訳は？



神話と歴史にまつわる スポット紹介

TAKE FREE

のべおか神話・歴史マップ

延岡市



アイコン凡例

- 登山 (Hiking)
- 景色 (Scenery)
- 食事 (Dining)
- 温泉 (Hot Springs)
- 駐車場 (Parking)
- トイレ (Toilet)
- 障害者用トイレ (Toilet for disabled)
- 花 (Flowers)
- 遊ぶ (Play)
- 線路 (Railway line)
- インターチェンジ (Interchange)

目次

2-3	のべおか神話・歴史マップ
4-5	延岡が「出逢いの聖地」と呼ばれるにはわけがある
6	出逢いのエピソード「神様のプロポーズ」
7	出会いのエピソード「時空を超えた出会い」
8-9	愛宕エリア	日本で最初に「出逢い」が生まれた聖地「笠沙山」(愛宕山)
10-11	北川エリア	西郷隆盛を救った奇跡のパワースポット可愛山陵
12-13	祝子エリア	美人の神が産湯として使った聖流「祝子川」が流れる渓谷
14	今山エリア	高さ日本一の「おだいっさん」にタッチ
15	今山エリア	商売が栄える九州三大恵比須のひとつ「今山恵比須神社」
16-17	行藤エリア	英雄ヤマトタケルの威光を伝える霊山「行藤山」
18	市街地エリア	繁栄を象徴する満開の「慧日梅」と「大黒天像」
19	市街地エリア	若山牧水が歌を詠んだゆかりの寺「台雲寺」
20	市街地エリア	「天下第一」の名にふさわしい歴史文化の遺産
21	市街地エリア	延岡から世界に羽ばたく大企業へ成長
22	南部エリア	延岡の水産基地として栄え、今なお発展を続ける港町
23	うみウラエリア	



「わけあって」には、理由(わけ) = Reason と、
分け合う = Share の意味が込められています。

延岡が「出逢いの聖地」と呼ばれるにはわけがある

神秘的な2つの出会い

高千穂に降り立った「天孫ニギノミコト」は、延岡で「コノハナサクヤヒメ」と日本初の出逢いを果たし、笠沙山(現在の愛宕山)で結婚しました。
 また明治の偉人「西郷隆盛」は、「天孫ニギノミコト」が眠る可愛岳の麓に宿陣し、「時空を超えた出会い」を果たしました。
 こうして神話や歴史に語られる2つの神秘的な出会いが、延岡で生まれたのです。

天孫降臨

アマテラス
オオミカミ

高千穂峡

高千穂

◆天孫ニギノミコトが降臨した地

※天孫 = 天(アマテラス)の孫



熊本県との境に位置する高千穂町は、古事記では天孫ニギノミコトが高天原(たかまがはら)から舞い降りた「天孫降臨の地」と伝えられ、町のいたるところに神話や伝説の舞台となった場所があります。まさに現在の日本はこの場所から始まったといえるのではないのでしょうか。

また明治の偉人「西郷隆盛」は、「天孫ニギノミコト」が眠る可愛岳の麓に宿陣し、「時空を超えた出会い」を果たしました。

アメノクスノミコト



天岩戸



日之影

五ヶ瀬川

えのたけ
可愛岳



西郷隆盛

◆時空を超えた出会い 出会いのエピソード2(P7)



北川町俵野地区に天孫ニギノミコトが祀られたといわれる可愛岳という山があります。地元では西郷隆盛が西南の役においてこの地に宿陣した最大の理由はこの御陵墓があり、政府軍は攻撃できなかったからとされています。このようなエピソードから、可愛岳は天孫ニギノミコトとの時空を超えた出会いが西郷を救った「出会いの聖地」と言えます。

延岡

出逢いの聖地

門川

◆日本初の出逢い

出逢いのエピソード1(P6)



延岡の街の中心部にある標高251mの愛宕山は、古くは「笠沙山(かささのやま)」と呼ばれていました。海に囲まれた岬であったその昔、天孫ニギノミコトとコノハナサクヤヒメがこの場所に出逢い結ばれたという、まさに「出逢いの聖地」なのです。

延岡の街の中心部にある標高251mの愛宕山は、古くは「笠沙山(かささのやま)」と呼ばれていました。海に囲まれた岬であったその昔、天孫ニギノミコトとコノハナサクヤヒメがこの場所に出逢い結ばれたという、まさに「出逢いの聖地」なのです。

かささのやま
笠沙山(愛宕山)

日向

◆旅立ちの地



後の神武天皇であるカムヤマトイワレヒコノミコトは、「どうもこの土地は国を治めるにはあまりにも西により過ぎている。東方にはもっと良い土地があるというから、東に向けて舟出しよう。」と決心し美々津より旅立ちました。

美々津

旅立ちの地



神武天皇

おきよ丸

日向灘

エピソード
1

天孫ニニギノミコト
コノハナサクヤヒメ

日本初の出会い
神様のプロポーズ



コノハナ
サクヤ
ヒメ
ニニギノ
ミコト



昔も今も♡



延岡花物語
ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメ



延岡花物語
このはなウオークの様子

アマテラスオオミカミの孫で天上界から降りて来た天孫ニニギノミコトは、五ヶ瀬川を下って笠沙山(愛宕山)にやって来ました。そこで大変美しい女性と出逢いました。名前をたずねると彼女は山の神のオオヤマツミノカミの娘でコノハナサクヤヒメと答えました。彼女に一目惚れした天孫ニニギノミコトはさっそく結婚を申し込みました。オオヤマツミノカミは大変喜んで二人の結婚を許しました。こうして天孫ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメはめでたく結ばれました。

check!

古事記の出逢いのシーンには次のような記述があります。
「此地は韓国に向ひ、笠沙御前に真来通りて、朝日の直刺す國、夕日の日照る國ぞ、かれ、此地はいと吉き地、高千穂峽から流れ下る五ヶ瀬川の河口近くにある愛宕山の古名が「笠沙山」と呼ばれていたことから、この「笠沙御前」が現在の愛宕山ではないかと言われています。

エピソード
2

天孫ニニギノミコト
西郷隆盛

時空を超えた出会い



二人の横顔といわれる可愛岳



ニニギノミコト御降墓参考地



西郷隆盛宿陣跡資料館

天孫ニニギノミコトはお隠れになった後、日向の可愛^えの山陵にまつられ、地元の人々から可愛岳^えご神体として崇められてきました。時は流れて明治時代、西南の役で政府軍と戦う軍を率いていた西郷隆盛は、可愛岳の麓に宿陣しました。なぜなら、西郷はこの地に、天皇家の祖先神にあたる天孫ニニギノミコトが祀られていることを知っていたからです。この地なら、政府軍も大砲や鉄砲を撃つことができません。奇跡的に西郷が天孫ニニギノミコトとの「時空を超えた出会い」を果たしたことで、政府軍の包囲を抜け、故郷鹿児島へと帰っていきました。

関連スポットの詳細はP10~P11を参照→

R-6 関連スポットの詳細はP8~P9を参照→

R-7



日本で最初に「出逢い」が生まれ

た聖地「笠沙山」(愛宕山)

愛宕エリア



神話 SPOT

笠沙岬で
恋愛成就を祈願

SPOT 1 愛宕山展望台

“天孫ニギノミコトとコノハナサクヤヒメが出逢い結ばれた”というロマンチックな神話が残っていることから、「出逢いの聖地」と呼ばれています。登山道入り口から山頂にある駐車場まで車で5分。そこから歩いてすぐ、延岡市街地を一望できる展望台は、2人の神様も眺めた笠沙岬と言われている場所です。



▲ご縁がいつまでも続くよう、鍵かけモニュメントに鍵をかけ縁結びを祈願し、2人で一緒に鐘を鳴らせば、仲良し度も深まります。

開運 月の道 展望台から眺める景色は、夜になれば一変。キラキラ輝く夜景が広がり一層ムードが高まります。特に満月にもなると、月の明かりで海面に光の道が浮かび上がり、とっても幻想的です。



▲宮崎県で最初に「日本夜景遺産」に選出され、「日本百名月」に唯一認定されています。

日本初のラブロマンスを演じた古事記の神様



縁の人 天孫ニギノミコト

天岩戸伝説で有名なアマテラスオオミカミの孫にあたる神様。地上の国を治めるために、アマテラスの命を受けて、現在の宮崎県高千穂町へと降り立ちます。やがて、五ヶ瀬川を下って現在の延岡市を訪れた天孫ニギノミコトは、笠沙岬でコノハナサクヤヒメと運命的な出逢いを果たし、二人は結ばれます。

縁の人 コノハナサクヤヒメ

ニギノミコトが出逢った瞬間に一目惚れするほど、絶世の美女だった女神。2人はやがて結婚しますが、一夜の契りで身ごもったことを怪しまれてしまい、産屋に火を放ち無事にホデリノミコト(海幸彦)、ホスセリノミコト、ホオリノミコト(山幸彦)を出産して天孫ニギノミコトとの子どもであると証明したのです。

かささのやま



二人の神様の
お住まいとして信奉

山頂には愛宕神社の奥宮が祀られており、最も天に近いという意味から地元では通称「極天さん」と呼ばれ親しまれています。神社に飾られている陣幕には、笠と笹が組み合わされた社紋が描かれていて、この場所が笠沙(笠と笹)であると伝えられています。天に近い「極天」なら神様にも声が届きやすく、お願いごとにはピッタリの場所です。

SPOT 2 極天さん(愛宕神社奥宮)



check!

徳川家康・織田信長のひ孫「日向御前」と極天さん
延岡藩主、有馬直純公の奥さまだった日向御前は、なんと徳川家康・織田信長のひ孫というすごい人物。性格は男勝りで、当時は女人禁制だった愛宕山に、「男が登って良いなら、女も登っても良いはずだ」と宣言して登った逸話も残っています。極天さんには、当時日向御前が寄進した鳥居の笠木が今でも残されています。ちなみに、地元では「おてんば娘」の事を日向御前といいます。

開運 縁むすび祈願参拝ルート

笠沙山(愛宕山)には、麓から山頂まで4つの神社が立っています。神様の縁結びの地にやかつて良縁が授かるように、「春日神社」で「縁むすび絵馬」を購入し、「愛宕神社」「御手洗水神社」「極天さん」を参拝し、「春日神社」に戻り絵馬を納め縁結びを祈願する参拝ルートです。



SPOT 3 愛宕神社

登山道入り口から続く階段をのぼった先に社殿があり、辺りは静かな雰囲気になっています。愛宕神社をこの地に移したことから、山の名前を「笠沙山」から「愛宕山」に改めたとされています。



SPOT 4 御手洗水神社

愛宕神社から車で展望台駐車場を目指しましょう。駐車場から徒歩5分、鳥居が立ち並ぶ参道を抜けた森の中に神社が現れます。清らかな水が湧き出す水汲み場は、かつては参拝者が身を清める場所でした。ここでしっかりと手を清めておきましょう。



SPOT 5 春日神社



愛宕山の麓にある神社。樹齢900年にも及ぶ本殿横の大楠をはじめ、境内はたくさんの縁に囲まれていて、爽やかな気分が包まれています。愛宕山の登山道へとつながっている桜並木は春の風物詩になっていて、神社の大鳥居を入れて撮るのがベストショット。ここでは、春日神社、愛宕神社の2つの御朱印がいただけるので、忘れずに。



神話
SPOT



運命を切り開く
開運スポット

SPOT 6 天孫ニギノミコト御陵墓参考地

可愛岳の麓に位置しているこの場所は、天孫ニギノミコトの終焉地として古くから伝えられ、西南の役折、西郷隆盛もその伝承を信じて宿陣し、その後、宮内庁からも天孫ニギノミコトの「御陵墓参考地」として治定されている特別な場所です。周囲を柵と扉で閉ざされており、遠めからのみ、その姿を眺めることができます。

春になると周囲を美しい桜の花が彩り、華やかな雰囲気になります。

縁の人

天孫ニギノミコト

8 ページ参照

Profile

check!



御陵守部 児玉剛誠さん

宮内庁から委託を受けて、御陵を守る役職「御陵守部」に就いています。西郷隆盛宿陣跡資料館そばの西南の役石碑など、歴史の案内もしてくれそうです。

宮内庁支給の制服を着用した児玉氏

SPOT 7 西南の役 和田越決戦場

かつて和田越一帯は、西南の役で薩摩軍3千5百人と官軍5万人が雌雄を決した場所でした。国道10号の和田越交差点から山の方へと上がっていく旧道を車で3分ほど進むと、西郷隆盛が初めて陣頭指揮を執った場所に「和田越決戦之地」の文字が刻まれた石碑が建てられています。



延岡で政府軍との激戦を繰り広げた明治の偉人

Profile

縁の人

西郷隆盛

薩摩(現在の鹿児島県)藩士で、明治維新の立役者と言われている人物です。明治10年、西郷隆盛を盟主にして起こった「西南の役」では、政府軍と戦いながら九州各地を転戦し、最後は延岡市北川町の可愛岳の麓に宿陣します。すでに敗戦濃厚だった西郷隆盛は、この場所で天孫ニギノミコトとの時空を超えた出会いを果たしたことで、何とか鹿児島まで帰ることに成功するのです。

えのたけ 可愛岳



日本書紀によると、天孫ニギノミコトは「筑紫の日向の可愛の山陵に葬りまつる」と記されています。まさにその記述と同じ名前をしている可愛岳は、天孫ニギノミコトにまつわる伝説のほかにも、巨石にまつわる伝説や西郷隆盛にまつわる伝説など、不思議な言い伝えが数多く残されており、歴史ロマンあふれる場所です。麓から山頂までは、片道3時間以上の険しい山道になっています。

check!

天孫ニギノミコト・西郷さんの横顔

離れた場所から可愛岳を見ると、まるで寝そべっている天孫ニギノミコトか西郷さんの横顔のように見えるという噂が、確かによく見てみると、天に向かって突き出した山頂の2つの峰が、鼻とあごの部分に見えてきます。家田地区の方向から見ると、その表情がよく分かります。

開運
耳より情報

可愛岳山頂の鉾岩

可愛岳の登山道には、ストーンサークルなど神秘的な巨石が点在しています。特に山頂に立つ鉾岩は信仰の対象にもなっており、この岩の周辺一帯が天孫ニギノミコトの御陵墓と伝えられています。



可愛岳山頂の鉾岩

えのごんげん 可愛権現神社



天孫ニギノミコトを
祀る神社

大昔、紀元前にはすでに可愛岳山頂の鉾岩付近まで、人々が参詣していたそうです。現在はあまりに道が険しいため、麓のこの場所に移されましたが、今でも天孫ニギノミコトが祀られていて、神々の伝説やパワーを現代に受け継いでいます。

SPOT 10 西郷隆盛宿陣跡資料館



お問合せ 住所: 延岡市北川町長井6727 電話: 0982-46-2960
定休日: 年末年始(12/28~1/3) 入館料: 無料

エピソード

天孫ニギノミコトと西郷隆盛の時空を超えた出会い



明治10年、明治政府に反旗をひるがえした士族たちの反乱「西南の役」が起きました。同年8月、西郷隆盛率いる薩摩軍は、現在の延岡市和田越にて山縣有朋陸軍中将率いる政府軍と対峙し、「和田越の決戦」と呼ばれる激戦を繰り広げました。善戦むなしく薩摩軍は北川方面へ敗走し、現在の西郷隆盛宿陣跡資料館にあたる児玉熊四郎邸に宿陣します。この児玉邸は天孫ニギノミコト御陵墓参考地と隣り合うように存在している場所です。西郷隆盛が宿陣した民家と、天皇家の祖である天孫ニギノミコトの御陵墓が、こんなにも近くにあったのは一体なぜでしょうか?



時空を超えた出会いが西郷を救った

西郷隆盛はこの御陵墓が天孫ニギノミコトの御陵墓であるを知っていたのです。山縣有朋率いる政府軍が、天皇家の祖先神である天孫ニギノミコト御陵墓に向けて鉄砲や大砲を打つことはできないと知っていて、ひとときの安息を得たのです。西郷隆盛は児玉熊四郎邸で軍議を開き、軍隊に解散布告を出しました。その後、自身の着ていた陸軍大将の軍服を焼き、可愛岳を突圍して祝子川や高千穂を抜けて九州山地を南下し、故郷の鹿児島へと帰っていきます。西郷隆盛が何とか鹿児島まで帰ってきたのは、この天孫ニギノミコトとの「時空を超えた出会い」がもたらした奇跡にほかなりません。

和田越の決戦にて敗北を喫した薩摩軍は、北川町へと敗走し、可愛岳麓の児玉熊四郎邸に宿陣します。その邸宅が現在は資料館になっており、さまざまな資料を展示しています。西郷隆盛は、鹿児島まで逃げのびるため険しい可愛岳突圍を計画するのですが、その時の会議が人形で再現されていて、緊迫したようすが伝わってきます。(上記エピソード欄参照)



桐野利秋(人斬り半次郎)の刀

桐野利秋は西郷隆盛の側近で、西南の役の実質的な総司令官として陣頭に立ち、勇猛な戦いぶりでも知られた。北川に敗走後は児玉初治邸に宿陣し、その御礼に贈ったとされる刀で、子孫の岡田真知子氏から市へ寄贈され、資料館に展示されています。

焼かれた軍服

この邸宅の庭で、陸軍大将の軍服と重要書類等を焼いた。当時の資料をもとに再現された軍服が展示されています。



コノハナサクヤヒメ

美人の神が産湯として使った聖

ほうりがわ

流「祝子川」が流れる溪谷

祝子エリア



美と健康の
パワースポット

延岡市街地から曲がりくねった山道进行ること、車で約1時間。大崩山登山口にほど近い山中に、清らかな川と巨大な石で作られた壮大な自然が広がる溪谷が現れます。祝子川という珍しい名前は、この地ゆかりの神「ホオリノミコト」に由来しています。その圧倒的な景色には、人の力を越えた偉大な力が感じられます。



大崩山の麓にあり、秘境と呼ぶにふさわしい場所にあるながら、登山客や女性客から高い支持を得ている天然温泉です。山並みを一望できる素晴らしい景色と、祝子川の地下水を源泉とした、ナトリウムイオンや炭酸水素イオンなどの成分を含む重曹泉の滑らかな肌触りで、肌をすべすべに整えてくれる「美人の湯」であるのが特徴です。美人の神として知られるコノハナサクヤヒメが、子どもたちの産湯として使ったのも納得です。お風呂は、ガラス窓がはめてあり外が眺められる内風呂と、開放的な露天風呂があります。



お問合せ

住所:延岡市北川町川内名10358-10
電話:0982-23-3080 営業時間:10:00~20:00
(月~水18:00まで、祝日・祝前日は20:00まで)
定休日:木曜(祝日の場合は営業)

開運
耳より情報

地どれ食材で作る「健康ランチ」



祝子川温泉美人の湯では、地どれの食材をふんだんに使った田舎料理「気まぐれ定食」などのヘルシー料理が女性に人気です。ちなみにこの土地には、病弱だった「山幸彦」が元気になったというエピソードが語り継がれていることから大自然のエネルギーが豊富なことがうかがえます。

パワースポット自然体験

ベテランガイドがパワースポットを案内する、トレッキングや大崩山登山なども人気です。



ベテランガイド石本烈子さん

お問合せ

ひむか感動体験ワールド

住所:延岡市東本小路131-5
電話:0982-29-3835
営業時間:9:00~17:30
定休日:火曜

縁
えにし
の人

コノハナサクヤヒメ

8ページ参照

SPOT
12

神さん山

高さ24メートルと15メートルの巨大な岩が支えあって岩屋を形成している、摩訶不思議なパワースポット。いつ頃、どうやってこの岩屋ができたのかは謎ですが、一説には、山幸彦ことホオリノミコトの岩屋ではないかとされています。祝子川温泉から徒歩15分、けもの道のような急斜面を上った先によく拝むことができる貴重な場所です。



神の気配が感じられる
神秘のパワースポット

開運
耳より情報

神さん山から 神秘のパワー を吸収しよう



巨岩が支えあっているその中央には、真三角形の岩がすっぽりとまはまって、とてもミステリアス。不思議な岩にそっと触れながら、その神秘の力を感じてみましょう。



SPOT
14

大崩山

「九州最後の秘境」と呼ばれる山で、かつてはホオリノミコトが出入りしていた聖域でした。年間およそ2万人もの登山客が訪れ、愛好家たちの間では憧れの山として高い人気を誇りますが、頂上までは途中ロープを伝って登ったり、はしごを渡って進んだり難易度も高く、中級～上級者向けの山になっています。この一帯は、珍しい岩峰や深い原生林に囲まれ、希少な野生動物も多く生息していることから、祖母傾国定公園に指定されています。2017年6月には祖母・傾・大崩ユネスコエコパークとしてユネスコから生物圏保存地域の認定を受けました。

check!

アケボノツツジ



4月下旬から5月上旬のゴールデンウィーク時期のみ見ることができます。ピンク色をした可憐な花びらが風に舞うようすは、まるでコノハナサクヤヒメの生まれ変わりのようです。

こまった時は中原さん!



祝子川温泉美人の湯の支配人、中原さんは大崩山の登山ルートや動植物のことを知り尽くした山男。大崩のことで分からないことがあれば、訪ねてみては。

海幸・山幸伝説で知られるコノハナサクヤヒメのまな息子

縁
えにし
の人

ホオリノミコト(山幸彦)

天孫ニギノミコトとコノハナサクヤヒメの間に生まれた息子で、祝子川の水を産湯に使ったことから、地名の由来にもなっています。また、朝廷に献上物を捧げる「ハフリ」という役職があることから、ホオリノミコトも神官だったのでは?という説も。別名を山幸彦と言ひ、兄のホドリノミコトこと海幸彦との間に起こった海幸山幸伝説でも有名です。

Profile

エピソード

祝子川にはスズメがない

昔から大崩山は、一晩で形を変えるほど大きく崩れ、落石が麓の集落を襲うなど大いに荒れ果てていました。当時、大崩山は人が入ることのできない聖域で、唯一ホオリノミコトが出入りしていましたが、その頃から次第に災害がなくなり、山は静かになったそうです。ホオリは「この村は貧しくて、雀がお米を食べると村人が困ってしまう」と雀を追い払い、それ以降、現在でも祝子川には雀が現れなくなり、村を救ったという伝説も残っています。



PowerUp ↑
健康

高さ日本一の 「おだいっさん」にタッチ

今山エリア



SPOT 15

蓬萊山 今山大師

市内を見つめる弘法大師像がシンボルとなっていて、市民からは「おだいっさん」の愛称で呼ばれ親しまれています。高さ日本一の弘法大師像のご利益を求めて、県外からも多くの参拝客が訪れ、特に毎年4月中旬に行われる「延岡今山大師祭」になると、町中がにぎわいます。山の麓から、階段や坂道を上っておよそ15分、朱塗りの山門や本堂を通り抜けた先に、弘法大師像がある山頂の広場に到着します。大師像が立っている台座には階段が付いていて、大師像の足元まで登って行くことができるようになっています。ぜひ近寄ってその大きさを実感してみてください。境内にはユニークな石像が多数並んでいるほか、弘法大師をモチーフにしたキャラクター「こだいっちゃん」のパネルも設置しており、一緒に写真が撮れるようになっています。社務所では梵字の書かれた御朱印もゲットできます。



エピソード

高さ日本一の弘法大師像

江戸時代、延岡城下に広まった疫病を鎮めようと、高野山金剛峰寺から弘法大師像(座像)を勧請して大師庵を立てたのが、今山大師の始まりです。現在の弘法大師像が完成したのは今から60年以上昔の昭和32年のこと。台座を含めると高さは17メートルもあり、弘法大師像としては日本一の高さを誇ります。



check!

延岡今山大師祭(お大師さん)



毎年4月中旬の金土日の3日間開催される「九州三大春祭り」のひとつ。今山だけでなく、市内のあちこちで物産展やステージイベントが行われ、目玉となる最終日の市中パレードには、沿道にあふれかえるほどの見物客が押し寄せます。弘法大師の教えに従って、市内各所でふるまいやお接待が行われ参拝客をおもてなしします。

開運 健康祈願といえど!

弘法大師像の足を撫で健康祈願



弘法大師像の台座に登ったら、大師像の足に注目。つま先が変色せずに残っている部分がありますが、これは、大師像の足を撫でると健康祈願にご利益があると言われていて、みんなが撫でていくからです。健康運を上げたい人は、念入りに撫でて健康運をあげましょう。



空洞になっている台座の中には、四国八十八か所のお寺の砂を集めた「お砂踏み」がある。一番から順番に踏んでいけば、お遍路さんのご利益のおすそ分けが得られます。



世界平和を願ってまちを見つめる巨大銅像

Profile

縁の人 弘法大師と弘法大師像

弘法大師は真言宗を開いた高僧で、書道の名人やすぐれた文人といわれる才能にあふれた人物でした。その弘法大師の銅像が延岡に建てられたのは、戦争終結間もない頃、今山大師の先々代の住職が、戦没者の慰霊と戦後復興を願うために発案したものでした。大師像が完成して60年以上経った今でも、平和の象徴として愛されています。

お問合せ 蓬萊山 今山大師 住所:延岡市山下町2丁目3998 電話:0982-32-5290

PowerUp ↑
繁盛

商売が栄える 九州三大恵比須のひとつ

今山エリア

SPOT 16

今山恵比須神社

今山の麓にあり、福岡市の十日恵比須神社、北九州市の若松恵比須神社とならび九州三大恵比須のひとつに数えられています。今山は750年に豊前国宇佐八幡宮を勧請したもので、社領を加増せられた758年、当山最も興隆を極め、「今最も栄える山」という意味で、社号を「今山」と改め今山八幡宮と号していられています。その名前にふさわしく、毎年2月に行われるお祭り「のべおか十日えびす」は、市内外の商売人が商売繁盛を祈願しに訪れ、大勢の人でにぎわいます。また、今山になる前は「蓬萊山」という名前で、秦の始皇帝の命を受けた徐福が、蓬萊山にあると言われる不老不死の薬を探してこの場所にも立ち寄った、という伝説があります。今でも神社の入口脇には、徐福が船をつないで留めたという「徐福岩」が残っています。



▲徐福岩と徐福像



check!

内藤藩の領地を守る守護神社「今山八幡宮」



歴代延岡藩主に愛された神社で、幾度となく火災や戦乱で焼失しても、その度に藩主が再建をしてきました。その中でも特に内藤藩は今山八幡宮を崇敬し、「延岡領内守護神社」として手厚く守ってきました。ホンダワケノミコト、タマヨリヒメノミコトなど合わせて全14柱の神々が祀られています。

御影石の一本造石段

今山恵比須神社から今山八幡宮へとつながる石段は、すべて御影石の一本造りでできています。全部で137段あり、御影石の一本造りの階段としては、日本一の規模を誇ります。



▲上:広々とした境内はきれいに整備されていて、駐車場やトイレなども完備しています。本殿横の階段を登って行った先には、今山八幡宮があります。

◀左:「日向之國 七福神めぐり」の霊場のひとつになっています。恵比須神の御朱印がいただけます。印鑑にある律儀の神の文字は、恵比須神の性格を表しています。

開運 九州三大えびす祭り 「のべおか十日えびす」



毎年2月10日、11日に開催されるお祭り、商売繁盛や航海安全を祈願するために、毎年市内外から数万人の人出でにぎわいます。何と言っても、お参りにやって来る人のお目当ては、福笹や福俵などの縁起物です。縁起物の購入者には繁栄の願いを込めて、神社の巫女さんたちがジャンジャンと手拍子を打って拍子木を鳴らしてくれ、これが人気となっています。ほかにも開運もちまきや神楽の奉納など、2日間は大いに盛り上がりです。

Profile

商売繁盛の神様は日本神話に密接な関係あり

釣り竿と鯛を抱えた姿が特徴的な、豊漁や商売繁盛の神様として知られる七福神のひとつです。恵比須様の正体については諸説ありますが、スサノオノミコトの子孫である説や、イザナキとイザナミの息子という説や、または山幸彦のこたう説もあり、いずれにしても日本神話と深いつながりのある神様です。

お問合せ 今山恵比須神社(今山八幡宮) 住所:延岡市山下町1丁目3875 電話:0982-21-4525

縁の人

恵比須神



英雄ヤマトタケルの威光を

伝える霊山「行滕山」



雄岳（おだけ）、雌岳（めだけ）の2つからなる標高831mの山で、岩肌が露出した雄々しい姿が特徴です。行滕という珍しい名前は、ヤマトタケルノミコトがその名付け親で、狩猟をする際に足にまく防具「行滕（むかばき）」に山の形が似ていたため名付けた、と伝えられています。昔は、聖域になっていて霊験あらたかな場所でしたが、今では気軽に登山が楽しめる、多くの動植物が観察できる人気スポットです。

エピソード

熊襲討伐とヤマトタケルノミコト命名秘話

ヤマトタケルノミコトは別名をヤマトオグナやオウスノミコトと言い、幼い頃はその名を名乗っていました。それがヤマトタケルと名乗るようになったのは、行滕で熊襲討伐をしたことがきっかけでした。父である景行天皇の命で九州を訪れたヤマトオグナは、まだ顔立ちも幼い少年であったため、女装することで、行滕にあった熊襲の屋敷に忍び込むことに成功します。敵将のカワカミタケルは、やって来たのが女性ということですっかり油断してしまい、すきを見て襲い掛かってきたヤマトオグナに敗れてしましますが、自分を倒した相手が幼い少年だったことを知って驚き、「あなたは以後、私の名前のタケルを取ってヤマトタケルと名乗りなさい」と、命名しました。つまり、ヤマトタケルの名前は、延岡の行滕で付けられた名前だったのです。

ヤマトタケルは、行滕の滝を見て「布引の矢筈（やはす）の滝を射てみればカワカミタケル落ちて流れる」と詠んだことから、行滕の滝は別名矢筈の滝とも呼ばれています。



SPOT 18 行滕の滝

行滕山の雄岳と雌岳の間から流れ落ちる高さ77mの滝で、日本の滝100選にも選ばれた名瀑です。行滕神社入口から続く登山道を約1時間登れば、滝のすぐそばまで行くことができますので、滝のマイナスイオンを浴びて、気分をリフレッシュ。車で来る際には、行滕神社入口の駐車場が利用できます。



行滕山の登山道入口にあり、神社の歴史はおおよそ1,300年。旧延岡藩主から寄贈された県指定文化財「鉄鱧口」が所蔵されており、代々の藩主の信仰を集め、手厚く守られてきました。神社入口から100mほど続く杉林に囲まれた参道を歩いていくと、玉砂利の敷かれた美しい境内が見えてきます。境内にはユニークな形をした狛犬や、宮崎県の巨樹百選にも選ばれているバクチノキなど、ご利益がありそうな見どころが多数存在します。

check!

これって狛犬？



社殿の前には、まるで犬のような、猿のような、とても奇妙な狛犬が座っています。かつて神社に寄贈された方が石を削り出して作ったもので詳細は不明ですが、その愛らしい表情から、参拝者から写真を撮られる人気者になっています。



▲行滕神社参道



▲国歌の歌詞にも登場する「さざれ石」が、入口に鎮座しています。

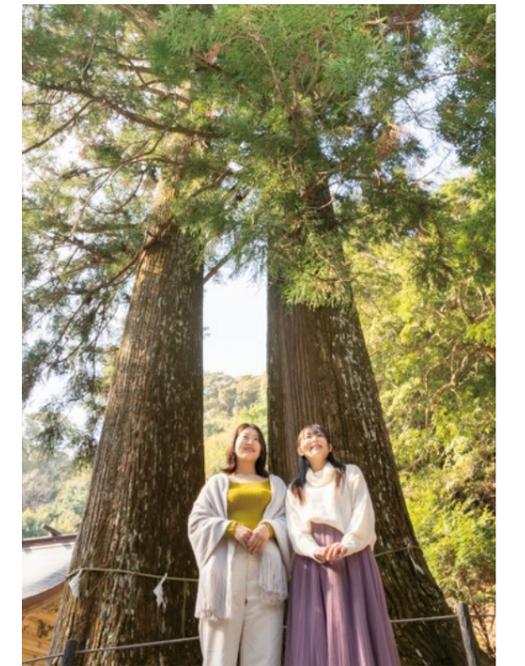
開運 耳より情報 行滕神社でハートをゲット



社殿の軒下を見てみると、象鼻などの見事な彫刻が施されています。もしその中にハート型の彫り物を見つけることができたら、素敵な恋が叶う予感。

夫婦杉

社殿向かって右奥にある杉の木は、1つの根っこから2つに分かれて伸びている夫婦杉です。樹齢は300年で、高さ10数メートルにも及ぶ巨木です。恋人同士で手をつないで杉の周囲を時計回りに回れば、より絆が深まることでしょう。



開運 耳より情報 修験道の霊山 行滕山登山



山自体が御神体として崇められてきた行滕山は、古くから修験者が修行と称して山に登ったり、滝を利用したりしてきました。今でも滝を通じて山頂へと至る登山道が残っており、行滕神社のある登山道入口から初心者でも約2時間で登ることができます。勾配のきつい坂道が続きますが、山頂は見晴らしがよく、晴れた日は日向灘も一望できます。



SPOT 20 舞野神社



国道218号から行滕神社へと向かう途中にある小さな神社です。神社がある舞野町は、ヤマトタケルが熊襲を討伐した際、勝利の舞を舞った場所であることから名付けられた地名で、討伐後、しばらく神社のある辺りにヤマトタケルがお住まいになられたという言い伝えも残っています。2月から3月にかけて、神社周辺の菜の花畑が一斉に満開となり、辺り一面黄色い花で覆われる美しい景色が楽しめます。

check!

勝利を呼び込む白太鼓踊り



島津軍の武将、平田氏が重さ40貫（150kg）の大白を抱えて踊る姿を見た敵軍が油断し、その隙に攻め込み勝利したという逸話に由来する踊りです。平田氏は舞野に住みつきこの踊りを広めましたが、かつてヤマトタケルが勝利の舞を舞った伝説の場所だけに、勝利を呼び込んだ白太鼓踊りが広まったのでしょう。毎年11月23日、行滕神社の秋季大祭でこの踊りが奉納されています。

熊襲を討伐した日本神話の伝説的英雄

Profile

縁の人

ヤマトタケルノミコト

第12代景行天皇の息子で、勇猛で知られた英雄です。九州を訪れて熊襲を討伐した後は、東征して日本各地を平定するなど、いくつもの武功を立てました。書物「行滕神社由来記」によると、すでに江戸時代前期には、ヤマトタケルが行滕を訪れたという神話が伝わっており、昔から行滕はヤマトタケル伝説の地として知られています。



PowerUp
裕福

繁栄を象徴する 満開の慧日梅と大黒天像

市街地エリア



慧日山 本東寺

延岡ICに近い、国道218号の松山橋交差点からすぐの場所、細い坂道を上がった先の、小高い山の上にあるお寺です。境内には、宮崎の三梅のひとつに数えられる慧日梅があり、2月上旬になると梅の花を楽しむ観梅会が催され、県内外から見物客が訪れます。また、徳川家康・織田信長のひ孫である日向御前や延岡藩主の有馬康純公など、延岡にゆかりのある人物のお墓があるほか、寺の裏手に行くと、かつてこの地を治めていた土持氏の居城である松尾城跡もあり、寺周辺は延岡の歴史ロマンをたっぷりと感じることができる場所です。寺には大黒天を祀っており、弁財天を祀る青島神社など、県内7つの神社を巡る「日向之国 七福神めぐり」のスポットにもなっています。また、日向御前が大事に持っていた、子授け、安産の神、鬼子母神もお祀りしてあります。



▲右:本堂に向かって左側にある巨大な大黒天像が、満面の笑顔で私たちを迎えてくれます。足元の米俵を触って、大黒様の授けてくれる福を分けてもらいましょう。

▲左:本東寺でもらえる御朱印は、お寺の名前ではなく、「大黒天」の名前で書いてくれます。打出の小槌の印が押された貴重な御朱印です。

check!

繁栄の象徴、境内を彩る樹齢約240年の「慧日梅」



境内にある白梅50本、紅梅5本は慧日梅と呼ばれています。中でも本堂前の枝垂れ梅は、なんと樹齢約240年。東西南北に10m以上にも渡って伸びている枝ぶりが見事で、枝いっぱい花を咲かせます。みやざきの巨樹百選にも選ばれています。

慧日梅 観梅会

毎年2月上旬に行われる観梅会は、梅の花を眺めながら食事やお茶の野点を楽しむことができます。毎年2月の花イベント「延岡花物語」のオープニングを飾る催しです。



PowerUp
文学

若山牧水が歌を詠んだ ゆかりの寺

市街地エリア

萬歳山 台雲寺

開創して400年を数える由緒あるお寺です。高千穂通りに面した入口から100mほど参道を進んだ先が境内になっており、仁王像が納められた山門をくぐると、本堂や会館などが見えてきます。境内には、延岡藩の藩主内藤政公の墓所や、空の先駆者と呼ばれた後藤勇吉氏の墓など、延岡にゆかりのある人物に関するものが数多く存在しています。中でも郷土の歌人若山牧水との縁は深く、生前何度もこの寺を訪れており、そのなかで詠んだ歌が、歌碑として今も残されています。広々とした本堂では、毎月第3日曜日に坐禅会が開かれています。約20分の坐禅や和尚さんの講話が聴ける体験で、「精神を集中して落ち着かせたい」「穏やかな気持ちで過ごしたい」といった人たちに好評です。



▲開創400年記念法要の様子



エピソード

台雲寺で詠んだ詩が彫られた「若山牧水歌碑」



昭和2年7月、妻とともに寺を訪問した際に、庫裡(くり=住職の居住地)の2階で牧水が草した「なつかしき城山の鐘鳴りいでぬ 幼かりし日聞きしごとくに」の歌碑です。城山の鐘の音を聞いた幼き頃を懐かしく思い返した詩で、牧水の代表作のひとつです。

check!

県内唯一の「仏足石」

仏足石とは、お釈迦様の足型を写し取ったもので、宮崎県内では唯一、台雲寺にあります。石をよく見ると、足型とともに指紋のような模様が細かく描かれているのがわかります。山門へとつづく階段横に設置してあります。



▲上:本堂の中は畳の間と椅子の間に分かれ、年中行持や坐禅会などに利用されます。本壁には、お釈迦様の十六人の弟子を描いた「十六羅漢板絵(1786年作)」が飾られています。

▲右:「南無釈迦牟尼仏」(なむしゃかむにぶつ)と読み、お寺の宗派である曹洞宗の聖号です。

開運 大黒天参拝！さらに奥へ



境内に立っている巨大な大黒天像にお参りしたら、本堂の中にある真っ黒い大黒天もぜひ参拝しておきましょう。本堂奥へと進んで行くと大黒天像が安置されている部屋があります。神社とは参拝方法が違うため、拍手は叩かず、心静かに拜んでください。寺務所にお問い合わせすれば、本堂の中を案内していただくことができます。

裕福や五穀豊穰をもたらす七福神のひとり

Profile

縁の人

大黒天

七福神のひとり、希望を叶えてくれる打出の小槌を持った姿が知られています。仏教には「真っ黒(大黒)になるまで働けば幸が訪れる」という教えがあり、精進して出世する姿を示しています。米俵に立っている姿から、台所の神様と呼ばれることもあります。

お問合せ 慧日山 本東寺 住所:延岡市松山町1133番地 電話:0982-32-3827

Profile

酒と旅をこよなく愛した郷土の歌人

縁の人

若山牧水

宮崎県日向市東郷町生まれの歌人若山牧水は、多感な少年時代を延岡で過ごしました。旅と酒をこよなく愛した歌人として有名で、牧水が歌う素朴で温かい歌は、日本全国に約300基もの歌碑が作られているほど、人々から愛されてきました。「ふるさとに帰来たりて まず聞くはかの城山の時告ぐる鐘」など延岡のことを歌った歌も多数作っています。

お問合せ 萬歳山 台雲寺 住所:延岡市北小路3739 電話:0982-32-2251



PowerUp
歴史文化

「天下一」の名にふさわしい 歴史文化の遺産

市街地エリア



SPOT 23 延岡城跡 城山公園

春はソメイヨシノのお花見や夜桜でにぎわい、「延岡花物語」のエンディングを飾るイベント会場となります。秋は「天下一新能」などの舞台公演が行われ、冬は3,300本のヤブツバキが咲き誇るなど、1年を通じて市民が楽しめる憩いの場となっています。現在は公園として整備されていますが、かつては延岡藩初代藩主、高橋元種が築城した延岡城があった場所で、「千人殺しの石垣」の異名を持つ石垣や、復元された北大手門などが建っており、当時の風情が感じられます。史跡を眺めながら、麓の北大手門を抜けて石垣横の階段を上り、山頂へ向かうと約10分、市街地を一望できる開けた展望の広場に到着します。この山頂広場には、歌人若山牧水も歌に詠んだ「鐘つき堂」があり、「続日本100名城」「日本の歴史公園100選」にも選出されています。



▲高さ22mの千人殺しの石垣は、礎石を外すと崩れ落ち、一度に千人を倒せると言われています。毎年10月の「天下一新能」では、石垣をバックに幻想的な舞が披露されます。

◀ソメイヨシノやヤブツバキなどが咲く、自然豊かな園内。特にヤブツバキは「延岡」「牧水」など固有の種もあり、日本三大ヤブツバキ群のひとつに数えられています。

check!

延岡城・内藤記念博物館



延岡城西ノ丸跡に建つ歴史民俗博物館です。歴代藩主の歴史資料をはじめ、市内より発掘された出土品などを展示しています。(新施設は2022年開館予定)なお、現在内藤記念館は建替えのため市役所南別館に仮移転中です。

天下一能面

延岡藩主内藤家が市に寄贈した能面66点が所蔵されています。中には豊臣秀吉によって「天下一」の称号を与えられた能面師の作品など、学術的に価値の高い作品もあります。10月の「のべおか天下一新能」で披露される演目には、この本物の能面が使われています。



お問合せ 延岡城・内藤記念博物館

住所: 延岡市南町2-1-8 電話: 0982-34-6437
開館時間: 9:00~17:00 休館日: 月曜、12/29~1/3

文化や教育の発展に力を注いだ延岡藩最後の藩主

Profile

縁の人

まさたか 内藤政拳(譜代)

1747年、福島県いわき市より移って来た内藤家は、初代政樹公から8代政孝公まで、約120年に渡って延岡を治めました。特に最後の藩主となった政孝公は、「亮天社」という中学校や女学校を整備し、延岡市の文化、教育、産業の発展に大きな功績を残し、城山本丸広場に記念の銅像が建てられています。

PowerUp
産業観光

延岡から世界に羽ばたく 大企業へ成長

市街地エリア



SPOT 24 旭化成延岡展示センター

市内を車で回ると、「旭化成」の工場が建っているのを目にします。実はこの「旭化成」は、ここ延岡市で生まれた企業です。創業者の野口遵は、地元の熱烈な誘致を受けて延岡に工場を進出し、世界で初めて延岡でガゼー式アンモニア合成法を用いてアンモニアを合成することに成功しました。この成功を機に「ペンベルグ」などの繊維製品、火薬などさまざまな製品を作り出し、今日の大企業へと発展していきました。旭化成が歩んできた歴史や、旭化成グループの製品を知ることができる「旭化成展示センター」は、見学の受け入れも行っていきます。展示センター内には、旭化成陸上部で活躍した選手ユニフォームや、オリンピックに出場した選手のメダルなども飾られていて、スポーツファンも必見です。2019年にはリチウムイオン電池の研究・開発に長年にわたって携わった、旭化成株式会社名誉フェローの吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞されました。その功績を称えるための展示もされています。

エピソード

「延岡新興の母」野口 遵と旭化成



旭化成の創業者、野口遵氏は、大正時代、工場建設の候補地を視察するため延岡を訪れました。野口氏は、まち全体が見渡せるという愛宕山の頂上から一望し、五ヶ瀬川や大瀬川から豊富な水が手に入ること、田んぼや畑が広がって広大な土地が確保できることなど、工場建設に適した場所であることが確認できました。野口氏は愛宕山の頂上からステッキで市内をぐるりと指し、「この土地を工場のために譲って欲しい」と地元村長や村会議員に伝えます。これを聞いた村長はすぐに土地の取得に動き、延岡への工場進出が決定しました。野口氏はその後、周辺町村の合併を提唱します。地元側はそうした難題にも積極的に協力し、恒富村や岡富村などを合併して、延岡町を発足させました。この延岡町が今の延岡市のもとになっています。つまり、旭化成がこの地に進出しなければ、今の延岡市



は生まれていなかったかもしれません。この野口氏の名前に由来し、東本小路に存在したホール「野口記念館」は、現在、新たに「野口遵記念館」として、建て替えが進められています。

お問合せ 旭化成延岡展示センター

住所: 延岡市旭町6-4100 電話: 0982-22-2070
開館時間: 9:00~16:00 ※見学については事前に要予約
休館日: 土・日曜、祝祭日、年末年始(土曜日の見学を希望の方は1ヵ月前までに要相談)

吉野彰(よしの あきら)氏

旭化成株式会社電池材料事業開発室長や吉野研究室室長などの要職を務め、2017年より旭化成株式会社名誉フェロー。2004年の「紫綬褒章」受章をはじめ「日本国際賞」「欧州発明家賞」など数多くの賞を受賞。2019年12月10日に、リチウムイオン電池に関する研究開発の功績が称えられ「ノーベル化学賞」を受賞。2020年3月延岡市名誉市民となる。



開運 高さ180メートル! 延岡のランドマーク



延岡市のどこに居てもその姿を確認できる、旭化成の赤と白の煙突は、延岡のランドマークとしてすっかり定着しました。旭町のペンベルグ工場に立っている煙突の高さは180mもあり、宮崎県内で最も高い建造物になります。ここまで煙突が高くなった理由のひとつには市内に直接工場の煙が降り注がないようにという、旭化成の配慮があったからだとされています。また、この煙突には最新鋭の機械が導入されており、有害物質などを取り除いた上で排出するなど、環境への取り組みも実施されています。1本の大きな煙突に見えますが、実はこの中には、4本の煙突が立っています。

Profile

工業都市延岡を生んだ「延岡新興の母」

縁の人

したがう 野口遵

野口氏は石川県金沢市生まれ。大正時代から昭和にかけて、旭化成の他にも日本窒素肥料などいくつもの会社を興し、実業家として活躍した人物です。晩年には朝鮮半島にも会社を進出するなど、世界を舞台に活躍されました。延岡市の誕生に深く関わったことから「延岡新興の母」とも呼ばれています。



延岡の水産基地として栄え、

今なお発展を続ける港町

SPOT 25

福聚山 極楽寺



▲ 極楽寺本堂(左)と九州四十九院薬師霊場 第20番札所となっている薬師堂

お問合せ 福聚山 極楽寺
住所:延岡市土々呂町5丁目-1200番地 電話:0982-37-0265

元霧島三所大明神と称して、古来、土々呂の産土大神と崇敬し、祭祀、造営等を氏子崇敬者が奉仕。明治4年神社改正の際、同所城山の今宮八幡神社を明治5年に合祀し、古来の霧島三所大明神の社号を霧島神社と改称して、村社に列せられました。昭和3年には神饌幣帛料供進神社に指定され、昭和42年の造営事業で現在の社殿となりました。同年、南側に恵比須神社が奉遷され海運守護、商売繁盛など幸運の神として祀られています。また、頂上には明治41年に太宰府天満宮から菅原道真公の分霊が勧請された天満宮があり「天當社」「ごってんさん」と呼ばれ親しまれています。



▲ JR日豊本線を横切る珍しい参道



▲頂上にある「天當社(天満宮)」



ブリ御殿(日高邸)

明治の網元・日高亀市翁が考案した「日高式ぶり大敷網」により水揚げ高が急激に伸びると同時に漁業の町として発展しました。この日高亀市翁によって建設された日高家住宅は地元の人たちからは「ブリ御殿」の愛称で親しまれており、延岡市の有形文化財に登録されています。



▲三松公園にたてられた日高亀市翁像

南部エリア

創建は天平勝宝3年(751年)であり、本尊は阿彌陀如来で南北朝時代に作られました。延宝元年(1673年)2代延岡藩主有馬康純の時に曹洞宗寺院となり現在13代の法灯です。境内には樹齢300年の大銀杏があり秋には黄色く紅葉美しい光景を見ることができます。地域に開かれたお寺でもあり、何でも相談や坐禅、研修、国際交流、ホームステイ等が体験でき、奥にはアジア各国の珍しい「お釈迦さま」などもあります。また、九州薬師霊場会は、神様とも縁も深く太宰府天満宮で開創した会で神社とも交流があります。極楽寺は第20番札所で「トトロのお薬師さん」と親しまれ、正月8日の初薬師祭は「健康長寿」を願ひ多くの参拝があり、お札・お守り・御朱印の他、事前に連絡をすれば諸堂案内・法話も受けられます。



▲平成15年に建立された新納骨位牌堂は美術家の安田潤児氏が手がけた「地球の曼荼羅」と題された天井絵で彩られています。



霧島神社

SPOT 27

宮野浦八十八カ所巡り

江戸時代後期、宮野浦地区で疫病や火災が頻繁に起こったことから、当時の交易で富を得た宮野浦の中野忠之丞の発願で四国霊場八十八ヶ所を勧請されました。文政2年(1819年)に、四国八十八ヶ所の、土と延岡で刻んだ石仏を船で搬入したのが由来と伝えられています。内藤家文書によると、大師像の設置については、中野忠五郎という人物で、設置した年は文政9年(1826年)といわれています。遍路のスタートとなる一番札所は、集落の玄関口に建つ高さ約5メートルの「修行大師」。八十八番大師までは、約12km、標高差約200mのお遍路道で高低差のある道のりですが、地区の人たちによって整備されており、比較的歩きやすく、子どもから大人まで幅広い年齢層が巡拝しています。毎年旧暦の3月21日に行われる「宮野浦八十八ヶ所大師祭(お大師さん)」には、市内外から白衣に袈裟姿をした大勢の「お遍路さん」が詰めかけ、地区内では旧暦7月21日にも大師祭が行われます。



メキシコ女王の黄金伝説

2021年1月島浦町の高速艇乗り場にメキシコ女王像が建てられました。これは、江戸時代に島浦の漁師が、漂流するメキシコ女王のものと思われる棺を見つけ、沖の小島に埋葬したという伝説にもとづき設置されたものです。沖の小島には白い十字架が建てられています。



うみウララエリア

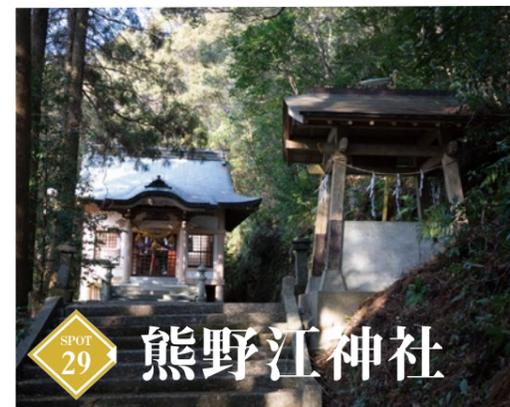
SPOT 28

島野浦西国三十三観音

島浦島内にそびえる遠見場山(186m)に点在する絶景ポイントからは、島ならではの大自然を一望することができます。山の根根づたいには、約100mの間隔で三十三体に及ぶ石造りの観音像が安置されています。天保12年(1841年)に近畿6府県と岐阜県にある「西国三十三所」をもとにしてつくられていることから、「島野浦西国三十三観音巡り」と呼ばれ、それを目的に多くの人々が定期的に島を訪れています。



▲それぞれの観音様には本尊のあるお寺と寄進者の名前が刻まれており、毎年3月の遠見場山祭りの前になると、施主の子孫によって今なお洗い清められています。



熊野江神社

1573年、当時の神司・見崎将監(けんざきしょうけん)が、霊夢に熊野三社の神がこの地に遷られるのを見たのち、早直に地頭を同行して山へ行った所、逆さに立てられた神神が生をもち芽吹いているのを発見しました。その地に祠を建て、紀州の熊野三社大権現を勧請し、熊野江神社と言われるようになったといわれています。のちに、現在地に奉遷されたことで、元は「福村」という村の名前も「熊野江」に改められたと伝えられています。

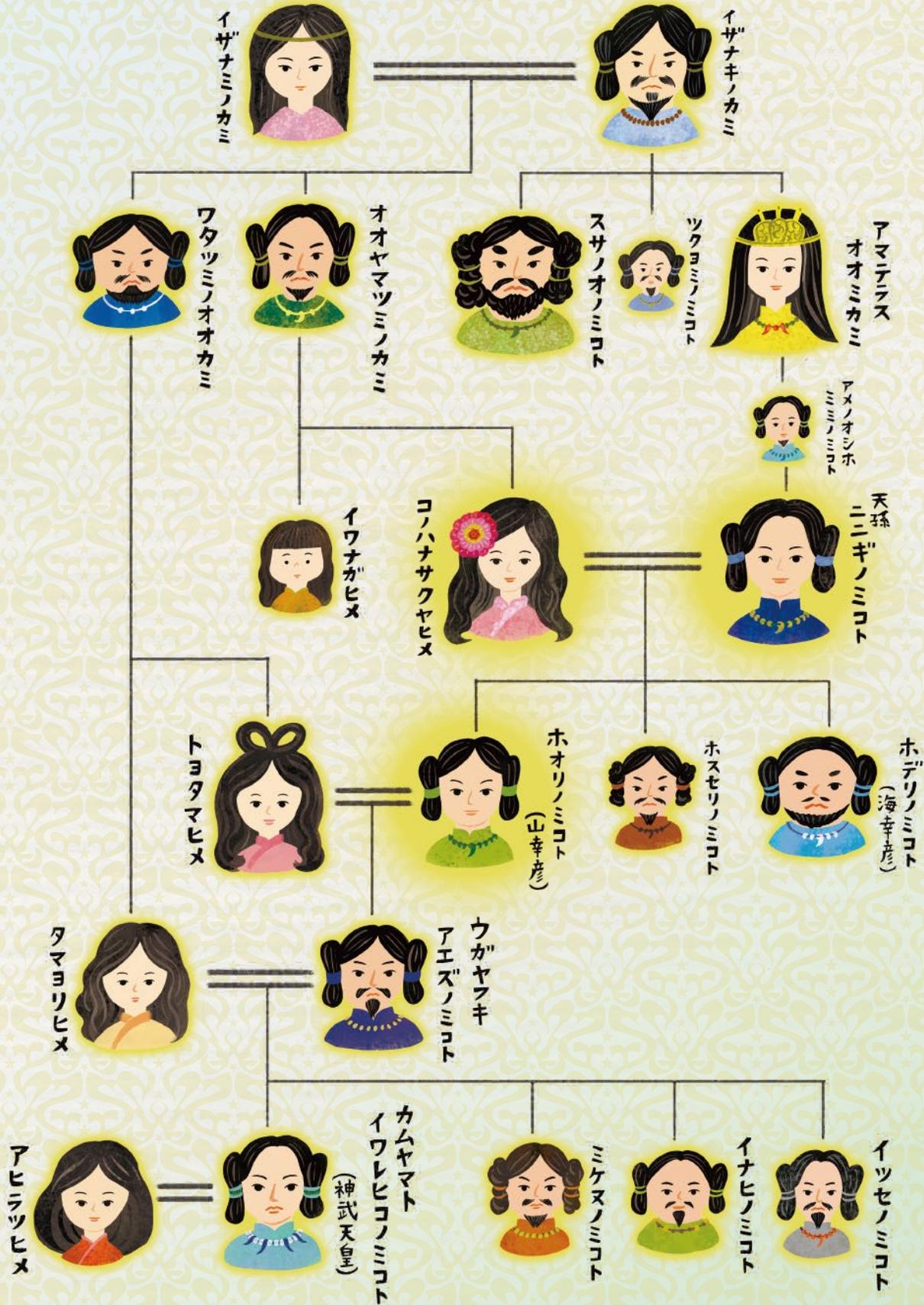


▲ヤッコソウは暖帯地方にのみ稀に見られる一属一種の寄生植物で、熊野江神社社叢(しゃそう)の椎の木に自生しています。その形が奴(やっこ)さんに似ていることから、この名が付けました。近年の調査で、絶滅したと思われていた須美江町、島浦町でも、再び自生が確認されました。



東海町にある「港神社」はその名の通り港の入口の海岸線に鎮座しています。全国的にも珍しい青い鳥居がとても印象的で、地元漁業関係者をはじめ、地元の方々によって大切にされています。空と海と鳥居の青で岩場との鮮やかなコントラストを生んでいます。近年ではSNSで話題となり市内外からの参拝者が増えています。

神々の系図



Reasonも♡でShareする